



優秀賞 (総合部門)

リフォーム前後の写真

タイトル 思い出溢れる我が家を息子に～旧家耐震～

タイプ 持家一戸建

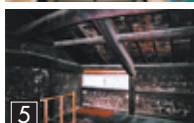
講評

築100年超の民家のリフォーム。上げ家・基礎新設・耐震性付与など費用がかかったが、昔の家の持つauthenticityがはっきりと姿を現した。その元は高校生のご息子の一言であった。よいものをきちんと評価する世代が育っている。

●リフォーム前



工事中：家をジャッキアップして持ち上げ基礎を新設。



●リフォーム後



1 玄関ポーチは既存の右を再施工。右戸袋は左の既存戸袋に合わせて竹針で再現した。



2 床はチーク無垢材。梁は上にほこりがたまるように天井高を調整して現した。ダイニング、キッチン側の壁は補強のために設けた。



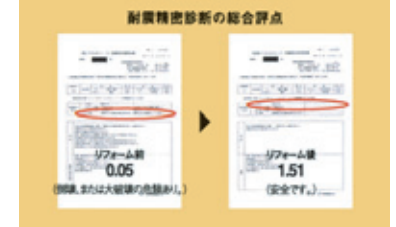
3 -a 框と床は既存の材と調和するチーク無垢材。手前両側の壁は、補強壁となっている。



4 昔の面影のままの和室建具を再利用。



5



6 昔の仕口を再現した軒天。

3-b 左手の式台はケヤキ材を製材して再利用した。

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

《リフォームの動機》	《設計・施工の工夫点》
1. 築150年の家。水廻りや、30年前にリフォームをした部分が傷んだので建替えを予定していた。	1. 息子さんの世代以降も安心して住み続けられるように、現状の傷んだ部分を補修、かつ耐震基準があがるように設計。
2. 高校生の息子が、「子供の頃から住んでいた、本物の木をふんだんに使った家を残してほしい。」とご希望。その一言で、古くて広い我が家を残すリフォームを決意。	2. 現状で使える材料は再度製材して利用。他にも、無垢材を使用。
3. 本物（無垢材）を使い、現状とあまり変えずに、安全に住まえるようにしたい。	3. 基礎のジャッキアップをし、土台敷の加工は現場加工ではなく、プレカットにして工期短縮をはかった。
	《施主の感想》
	・昔の面影を残しているので、親戚も喜んでます。リフォームで木の良さを改めて感じ、リフォームを終えてから銘木材を揃えたり趣味が増えました。

特に配慮した住宅性能：【耐震(静岡県 TOKAI-0 耐震 0.05→1.51)】築150、100、30年の建物構成ため基礎構造がばらばらであったため、建物全体をジャッキアップし、べた基礎工事を新設、ホールダウン金物にて固定した。【バリアフリー】各所の段差・柱根本の傷みを解消するため、全ての柱下を切り、高さをそろえ鉄筋コンクリートの基礎の立ち上げ土台敷きをし、床高をそろえた。

データ	
所在地	静岡県磐田市
構造/築後年数	在来木 造 / 150 年
該当工事面積	251.55 m ² / 総工事床面積 251.55 m ²
該当部分工事費	5,200 万円 / 総工事費 5,200 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満： 2 人 / 65歳以上： 1 人 / 15歳未満： 人 / ベット： 人
設計者	住友林業ホームテック(株)
担当者	浅井 恵子
施工者	同上
担当者	城田 秀幸

リフォーム前



2階



1階

リフォーム後



2階



1階

S=1/350